

山田洋次  
スリップウェア展

く古典に学ぶく

一月十八日(土)く二十八日(火)

会期中無休



料金後納  
ゆうメール

## 山田洋次 スリップウェア展 ～古典に学ぶ～

2014年1月18日(土)～24日(火) 会期中無休

営業時間 11:00～18:00 作家在廊日 1月18日(土)・19日(日)

山田洋次さんは、滋賀県の信楽町でスリップウェアを作っています。スリップウェアとは、泥状の粘土（SLIP）を模様にした陶器（WARE）の事。古くは紀元前まで遡ることのできる技法ですが、日本で一般的に知られているのは、18世紀中頃から19世紀末まで英国で作られた庶民の暮らしで使われた実用の器です。それらは濃い茶と山吹色の抽象的な線で描かれた模様が特徴的で、柔らかな土が織り成す景色は素朴な生活の温かみを感じます。本国ではあまり注目されなかったこの民衆の器の美しさを見出したのは、柳宗悦や民藝運動を支えた陶芸家でした。英国産なれど、その美の発見は日本産とも言えるのです。山田洋次さんは信楽の窯業試験所で学んだ後、イギリスに渡り現地の陶芸家アシスタントを経験。帰国後、スリップウェアに特化した制作を続けています。従来より現代の暮らしに合わせたモダンなスリップ模様を中心にしてきましたが、本展では英国の古典的な作風に基づいた新作を発表いたします。山田さんの中でずっと暖め続けてきた思いはその本質となる古典の意味に近づくことでした。温故知新。山田さんの古くて新しいスリップウェアの世界をどうぞ堪能ください。店主

### 山田洋次 プロフィール

1980年 滋賀県東近江市生まれ

2002年 信楽窯業試験場小物ロクロ科 修了

2007年 渡英

Maze Hill PotteryにてLisa Hammondに師事

2008年 帰国

2014年 現在、滋賀県信楽町にて制作

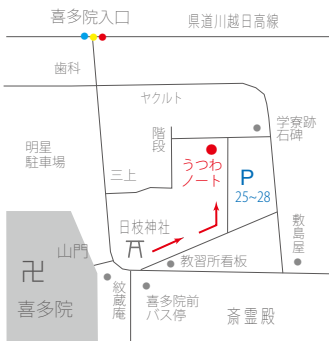


### ギャラリー うつわノート

埼玉県川越市小仙波町1-7-6

TEL 049-298-8715

MAIL utsuwanote@gmail.com



- 電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分、本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分
- バス：川越駅東口3番乗り場 [小江戸名所めぐり]乗車～[喜多院前]下車
- 車：専用駐車場有(25～28番)